

CASBEE[®]-建築(新築)

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2024年版 ■使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2024_v1.22

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	コアツ新容器関連施設建設工事	階数	地上2F、地下0F
建設地	兵庫県三田市テクノパーク24番	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法第22条区域	平均居住人員	10 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,080 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028年2月 予定	評価の実施日	2026年6月25日
敷地面積	3,261 m ²	作成者	鶴園 龍太郎
建築面積	2,565 m ²	確認日	2026年6月25日
延床面積	4,619 m ²	確認者	山田 隆司

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE =1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ホールライフカーボン(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

30%: ★☆☆☆☆ 60%: ★☆☆☆☆ 80%: ★☆☆☆☆ 100%: ★☆☆ 100%超: ☆

項目	建設	修繕・更新・解体	運用	ロンスイト	ロフサイト
①参照値	20	10	10	10	10
②建築物の取組み	20	10	10	10	10
③上記+②以外の	20	10	10	10	10
④上記+	20	10	10	10	10

このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたWLC排出量の目安で示したものです。
④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 3.1

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 兵庫県三田市に建設される工場の計画である。外皮性能を高め、節水型器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。		その他 -
Q1 室内環境 ほぼ全面的にF☆☆☆☆の建材を使用し、室内の良好な空気質環境の確保を図っている。	Q2 サービス性能 耐用年数の長い外装材、配管材料を採用し、建物の維持管理に配慮している。また、階高に余裕を持たせ、ゆとりのある計画とし、機能性に配慮している。	Q3 室外環境 (敷地内) 植栽による修景、視点場からの外観パースによる検討等、良好な景観形成へ配慮した取り組みがある。
LR1 エネルギー 断熱性の高い材料を採用し、建物の熱負荷抑制に配慮している。	LR2 資源・マテリアル 節水器具を積極的に採用し、水資源の保護に配慮している。	LR3 敷地外環境 燃焼機器は設置せず、光害チェックリストを作成し、周辺環境へ配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される